

## 平成30年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業 再会、海からのメッセージ

- 1 趣 旨 「海からのメッセージ」を振り返り、それぞれの成長を確かめるとともに、絆をさらに深め、新たな目標に向けてのスタートの機会とする。
- 2 期 日 平成31年1月26日（土）～27日（日） 1泊2日
- 3 対象者 平成30年度海からのメッセージ参加者
- 4 参加者 22人（小学生13人、中学生5人、高校生4人）
- 5 指導者 国立大隅青少年自然の家職員、ボランティア8人

### 6 日程と主な活動

1月26日（土）		1月27日（日）	
10:30	受付	6:00	起床・寝具整理・清掃
11:00	出合いのつどい	7:00	朝のつどい
11:15	8月のふりかえり （スライドショー・ビーイングの確認）	7:30	朝食（レストラン食）
12:00	昼食（レストラン）	8:40	退所点検
13:00	グループ活動 （各班で今のチャレンジ発表、 新しいグループで課題にチャレンジ）	9:00	グループ活動 （全員でビーイングの作成 新しいグループで課題にチャレンジ 全員でビーイングに追記）
17:00	個人チャレンジ （スポーツライミング、 仲間を信頼する活動）	12:00	昼食（レストラン）
19:00	夕食（レストラン）	13:00	2日間のまとめ （各班でこれからのチャレンジ発表）
20:00	入浴	13:45	別れのつどい
21:45	就寝準備・就寝	14:00	解散

### 7 事業運営上の配慮

- 1月末の開催であるため、屋外活動以外を企画した。また、当日が低温予報であったため、本館周辺でのグループ活動を中止して、室内で実施した。結果的に体調不良も出ず、2日間を全員で楽しく過ごせた。

### 8 参加者アンケート結果（再会に参加した22人）

生きる力の変容を見ると、事後から追跡（5ヶ月後の再会時）にかけて1.5ポイント向上した。【表1】その中でも「前向きに、物事を考えられる」（積極性）、「その場にふさわしい行動ができる」（適応行動）、「いやがらずに、よく働く」（まじめ勤勉）、「からだを動かしても、疲れにくい」（日常的行動力）の内容に向上が見られた。長期宿泊体験の経験が日常と結びついている側面もある考えられる。



### 9 参加者の感想

- 久しぶりに再会し、一緒に課題にチャレンジしたり、頑張っている話を聞いたりすることができた。
- 8月と違って2日間だけだったけれど、同じ班以外の人ともたくさん交流ができて楽しかった。

	生きる力の変容	心理的社会的能力の変容	徳育的能力の変容	身体的能力の変容
■事前	118.4	57.9	34.1	26.3
■事後	126.1	61.8	36.0	28.2
■追跡	127.6	62.4	37.4	27.8

## 10 成果

- 8月の班を崩して、新しい班での活動としたことで別の役割を意識したり、目立つ子に隠れていた各個人の新しい一面を見ることができた。
- 活動内容のまとめとして、全員で活動の気づきを模造紙にまとめた（ビーイング）。結果的に、成果物を欠席者にも送付でき、今後も各自で 追記して成長させられるものを作成できた。

